

**【NEWS RELEASE】**

2020年10月30日

各 位

株式会社三井住友銀行

三菱地所物流リート投資法人に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、三菱地所物流リート投資法人（執行役員：坂川 正樹）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（ ）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、三菱地所物流リート投資法人については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

テナント・ステークホルダーとの協働を通じた、保有物件における省エネ・再エネ利用の促進

目標 7 エネルギーを みんなに そして クリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

物流施設における高品質化（快適性・レジリエンス向上）・物流網の維持を通じた、地域社会への貢献

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



LED 照明へ改修及び  
それに伴いグリーン  
リース契約の導入



太陽光パネルの設置・  
津波避難ビルへの指定



災害時に備えた備蓄を確保  
及び公益財団法人に  
災害備蓄品を寄付

<ご参考>

SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。